

# ネットワーク化 栃木県

平成21年4月11日



筑波大学大学院人間総合科学研究科

ヒューマン・ケア科学専攻

柏木 聖代

# モデル事業の位置づけ

		地 域						
		北海道	北海道	宮城県	栃木県	茨城県	千葉県	大阪府
大規模化	同法人内の事業所同士の統合	○		○				
ネットワーク化	利用者からの24時間電話対応を共同で実施							○
	訪問看護の問い合わせ(新規相談等)への電話対応を共同で実施						○	○
	衛生材料等の訪問看護用物品を共同で購入							○
	事務・請求業務を共同で実施				●			
	訪問看護のPR・パンフレット作成等を共同で実施					○	○	○
	マニュアル類を共同で作成							○
	ケア技術や管理・運営を相互に相談					○		○
	スタッフ教育を共同で実施							○
	人事交流・ローテーション							○
	その他					○		
遠距離訪問	過疎地、移動距離がかかる地域、訪問看護サービス可能な事業所がない地域等の利用者への訪問				●			
集合住宅訪問	高齢者や低所得者等が多く住む住宅(県営住宅等のアパート)と健康管理を含めた包括サービス提供の契約を行う							

# ネットワーク化モデルの実際(栃木県)

## 同一法人内ネットワーク

A市に訪問看護STを開設('94)  
 事務・管理業務に係る時間を確保できず時間外に実施  
 ↓  
 非常勤事務職員1名を雇用  
 ↓  
 訪問看護が多忙になり、  
 事務・管理業務を時間外に実施

B市、C町に訪問看護STを開設('97)  
 事務・管理業務に係る時間を確保できず時間外に実施

D町、E市、F町、G町、H市、I町\*  
 に訪問看護STを開設('00)  
 事務・管理業務に係る時間を確保できず時間外に実施  
 \* 統合にて廃止

訪問看護ST本部('02)立ち上げ  
 (看護師1名、事務5名の体制)

独立の事務部門として、同一法人STの事務業務・管理業務等支援

### 【主な本部業務】

#### 経営管理

- ・報酬請求業務 給与業務
- ・消耗品協同購入・医療廃棄物
- ・公用車の契約購入・事故対応等

#### 人事管理

- ・就業規則、勤務管理、健康管理
- ・研修受講計画、リスク管理 等

#### 業務管理

- ・24時間体制、緊急訪問手続き
- ・利用者対応(相談対応) 等

新たに、へき地への訪問看護提供を検討中

## ネットワーク化の効果

### 訪問件数増加

('02→'03)

A: 3,775件

→ 4,449件

B: 2,232件

→ 2,271件

C: 4,892件

→ 5,293件

D: 2,126件

→ 2,334件

E: 3,037件

→ 2,552件<sup>†</sup>

F: 3,272件

→ 3,730件

H: 1,340件

→ 2,025件

<sup>†</sup> 非常勤看護師(管理者)1名減により訪問件数を減らした

# 同一法人内におけるネットワーク化をふまえた上で へき地への訪問看護サービス提供にむけた検討

## 現状の課題

現在、日光市には1つの訪問看護STのみ  
現存の1訪問看護STから栗山まで片道1時間～3時間(時間・交通費大)  
栗山まで車での移動は負担大(山道、冬季は路面凍結、積雪時は移動困難)  
→ 現在、栗山では訪問看護は提供されていない(1件依頼があったが提供困難)



### 【サテライト事業所】

- ・利用申込に係る調整、サービス提供状況の把握、職員に対する技術指導が**一体的に行われること**
- ・職員の勤務体制、勤務内容等が**一元的に管理されること**
- ・苦情処理や損害賠償等に際して、**一体的な対応ができる体制にあること**
- ・事業の目的や運営方針、営業日や営業時間、利用料等を定める**同一の運営規程が定められること**
- 人事・給与・福利厚生等の勤務条件等による職員管理が**一元的に**行われること

## 訪問看護ST本部

### 栗山へのサテライト設置の検討

(1) 介護保険、医療保険、特定疾患等のデータからのニーズ把握

関係職員、医療従事者、住民から聞き取り調査によるニーズ把握

(3) へき地に勤務できる看護師の就業条件

(4) 診療所医師、保健師、看護師、ステーション所長等との話し合いによる訪問看護の可能性(理解)

栃木県

日光市

栃木県看護協会

社会福祉協議会

診療所